

平成30年度業務実績に関する評価意見【全体意見】

(全般的事項、特筆すべき成果、今後に対する意見等)

評価報告書の全体評価：下線、項目別評価：波線

【花泉委員長】

(全般的事項)

・(No.85については追加資料次第ではあるが)全ての項目がA、B評価となっており、年度計画を十分に実施していると認められる。

(特筆すべき成果)

・報告書【概要版】の6件に加え、外部業者による科研費申請書添削を実施し、更に費用対効果が実証できたこと(No.37)も、特筆すべき成果に加えて良いのではないかと。

(今後に対する意見)

・評価委員会では話題にならなかったが、外国人研究者や留学生に対する安全保障輸出管理に関しては最近特に厳格な運用が求められるようになったため、実績があれば記述すべきであり、無ければ早急な体制の整備が望まれる。⇒第1期中期目標期間における業務実績に関する評価に記載

【大学回答】

平成30年度の実績はない。

(令和元年度から、安全保障輸出管理について整備を進めている。

令和元年10月に地域貢献・研究支援係の職員が経済産業省・文部科学省主催の安全保障貿易管理説明会に参加した。

また、経済産業省にアドバイザー派遣を依頼し、群馬大学伊藤正実教授を本学の輸出管理アドバイザーとして迎え、学内規程等制定に向けて事務を進めている。)

【梶委員】

全体としては年度計画を積極的に実施している。

特に以下の点は大いに評価できる。

2、オープンキャンパスの内容を変更して参加者増につなげたこと。

11、一年生のカレッジTOEIC受験率を大幅に高めて、今後の受験者増に期待が持てる。(今後：今回受験した一年生が高学年になった時、自らの英語力アップを確認するために再受験することを期待する。)

23、分野横断型の先端研究者の特別講演会を実施し、想像力を養う機会を持った。

(今後：講演者が卒業生であれば、なお良いと思う。)

24、RA・PD制度に関して工夫して成果に繋げようとしている。

53、63グループウェアの利用を積極的に推進している。

【後藤委員】

業務の全体的な実施状況では、年度計画に遅れている事項は一つもないことから、年度計画を計画通りに実施していると評価できる。

特筆すべき成果として、オープンキャンパスの実施に関して見直しを行った結果、参加者が前年度に比べ倍増したことは、受験生の進学先の一つの選択肢として認知されたということであり評価できる。一方で、オープンキャンパスの参加者が合格者として入学する割合は高くはない。参加した生徒に進学先として選んでもらうために、今後も検証していくことを期待する。また、卒業生の離職を防ぐために、卒業生調査を実施したり、業種・業界説明会を改善したり、アセスメントテストを実施してキャリア支援を行ったりしたことは評価できる。今後も前橋工科大学卒業生が一層活躍できるよう、キャリア支援教育の充実に期待する。

今後については、アドミッションポリシーに関わる文言が未整理の学科があることから、2021年度の新入試に向け作業が順調に進行するように努める必要がある。また、教育の質を保証するために、ディプロマポリシーに基づくカリキュラム編成を明確にする「教育方針と科目の対応一覧表」の作成は社会環境工学科だけでなく、全学科で作成できることが望ましい。(これに関して、会議中では学長から1学科のみの作成との回答であったが、第1期中期目標における業務実績の報告書において、学長のコメントには全学科で作成したと読める表現になっており、確認が必要と思われる。No.6) 加えて、早期にアセスメントポリシーを策定し、合わせて3つのポリシーの整合性の検証を着実に実施できる体制を整えていくことが望ましい。

【大学回答】

教育方針と科目編成の対応一覧表については6学科及び教職センターで作成し、平成30年度学生便覧に掲載している。事業報告書では例として社会環境工学科の対応一覧表を提示した。他学科の対応一覧表については、追加資料を確認いただきたい。

【富山委員】

「年度計画」と「業務の実績」に記載されている内容が“不整合”となっている箇所が散見される。この問題を解決すべきである。具体的には、次のようにすることになる。まず「年度計画」は固定されているので修正できない。なので、「業務の実績」に記載する内容の方を、「年度計画」の内容をきちんと受ける形に書き直す。

不整合になっているように感じた箇所については、様式②の項目別評価に対する「評価意見等」に記載したので、参考にしていただきたい。

【星野委員】

すべての項目について、A及びB評価となっており、年度計画を十分に実施していると評価できる。

今後も時代の変化に対応し、かつ、関係者（学生、教職員、地域等）のニーズを的確にとらえた計画を積極的に立て、柔軟に対応していただきたい。